

3 コミュニティプラン策定方法

(1) 自分の住んでいる地域社会を見つめる

コミュニティプラン策定には、まず自分たちの住んでいる地域をよく見つめることから始めます。地域社会にはいろいろな問題があります。例えば、ごみ集積所や分別収集、下水道やカーブミラー等の環境問題、防災や防犯、交通安全、青少年健全育成などです。これらの課題をよく見つめ地域の実情を把握します。

(2) アンケート調査

地域の実情や住民が何を望んでいるかを、アンケート調査します。調査票の作成や集計が効率よくできるように、事前に専門家などのアドバイスをもらうとよいでしょう。どんな答えを求めたいかを決め、具体的な設問をつくります。

(3) 調査の手順

- ア 調査目的を立てる：仮説を立て目的を明確にします。
- イ 調査対象を決める：調査区域や被調査者を誰にするか等を決めます。
- ウ 調査方法を決める：質問の方法、面接の方法を決めます。(団体、個人)
- エ 調査を実施する：調査中に調査員の打合せ会を数回開きます。
- オ 集計表の数字や意見を分析、問題点や課題を明らかにする：
無理に結論を出さないで再調査することも考えます。
- カ 調査結果を公表する：わかりやすく整理して報告します。
- キ 調査結果を活動資料にする：活動をすすめる基礎資料として活用します。

(4) 地域課題の発見

アンケート調査の集計結果を分析するといろいろな問題がみえてきます。その結果をもとに実際に現地を歩いて「散策調査」を行い、アンケート調査の裏付けをします。また、粗集計ができた地点で、住民説明会なども有効です。そして、今やるべき問題と長期にわたって解決すべき課題を決定します。

(5) 解決案づくり

決められた問題や課題をどのようにしたら解決できるか、みんなでアイデアを出し合います。問題解決案はブレインストーミング方式で、いろいろな角度から案が出るようにします。行政やその道のプロにも入ってもらうと、よい案が出てくることもあります。解決案は、予算や技術的、時間的なことから実現が困難な案でも、少しずつ問題点をつぶしていけば、いつかは実現するものです。あまり低い目標にはしない方がよいです。

(6) 文章にする

解決案ができたならプラン案の起草にかかります。できた案を全委員で検討します。最後にプラン案を印刷して全住民に配布します。

(7) 実践する

自治会や町内会、各種団体の代表などに説明会を行い、できるものはすぐに実践していきます。実践の結果を反省して修正を加え、再度実践します。